

ビックデータの有効活用によるEBPMと効率化・生産性向上の推進

分科会提案者：株式会社 J T B（観光予報プラットフォーム推進協議会事務局）

<h2>分科会の目的</h2>	自治体やサービス事業者のデータ利活用の推進 1. 自治体による証拠に基づく政策立案へのデータ活用→自治体の当初予算化 2. サービス事業者の効率化による生産性向上→人手不足の解消 3. そのほかビックデータ活用の効果がありそうな産業領域の抽出
<h2>解決したい課題</h2>	ビックデータの有効活用に向けた（１）課題の整理（２）成功事例の調査（３）法的規制（障害）の整理

分科会での活動内容及び期待される成果

分科会での活動内容

活動 1：既存データプラットフォームの課題の整理

- ・必要とされるデータ（量・粒度・鮮度や協調・競争領域など）
- ・データ収集方法の課題
- ・実績値から将来予測値の精度向上に関する課題
- ・持続可能な運用コストと利用料金に関する課題（予算化）
- ・データ統一化のための課題（語彙基盤・産業連関表など）

活動 2：ビックデータ等を活用した事業者好事例の収集

- ・効果の可視化に向けた検討
- ・観光予報プラットフォームDS（Data Science）の機能検討
- ・普遍性の検討（経済効果算定（産業連関表の統一等）について）

活動 3：実証実験の実施など自走に向けた検討

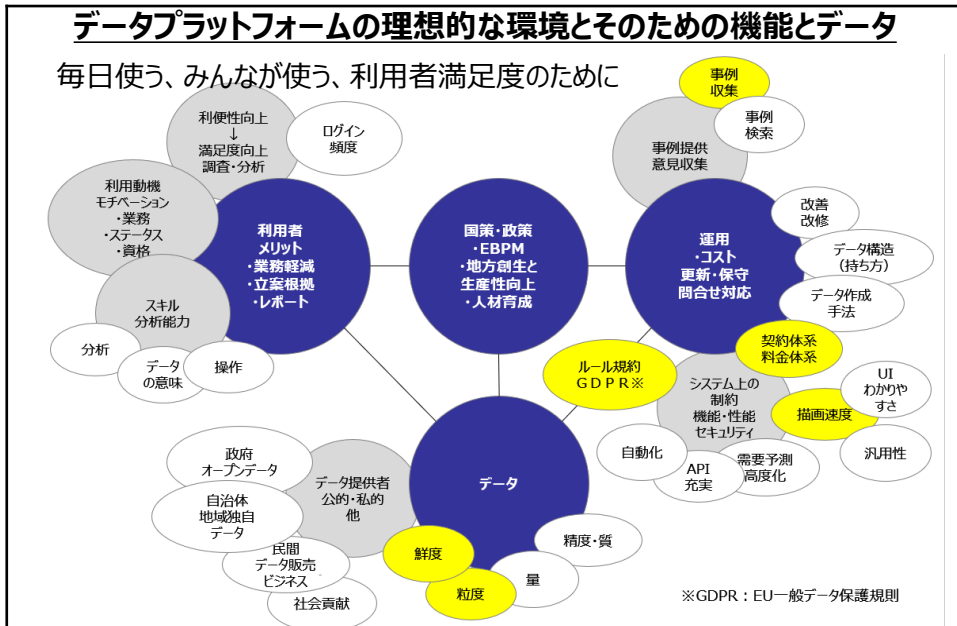
- ・国策・政策への提言（プロジェクト事業への展開要請 等）
- ・法的対応策の提言（規制緩和、グレーゾーンの制度化調査 等）

期待される成果

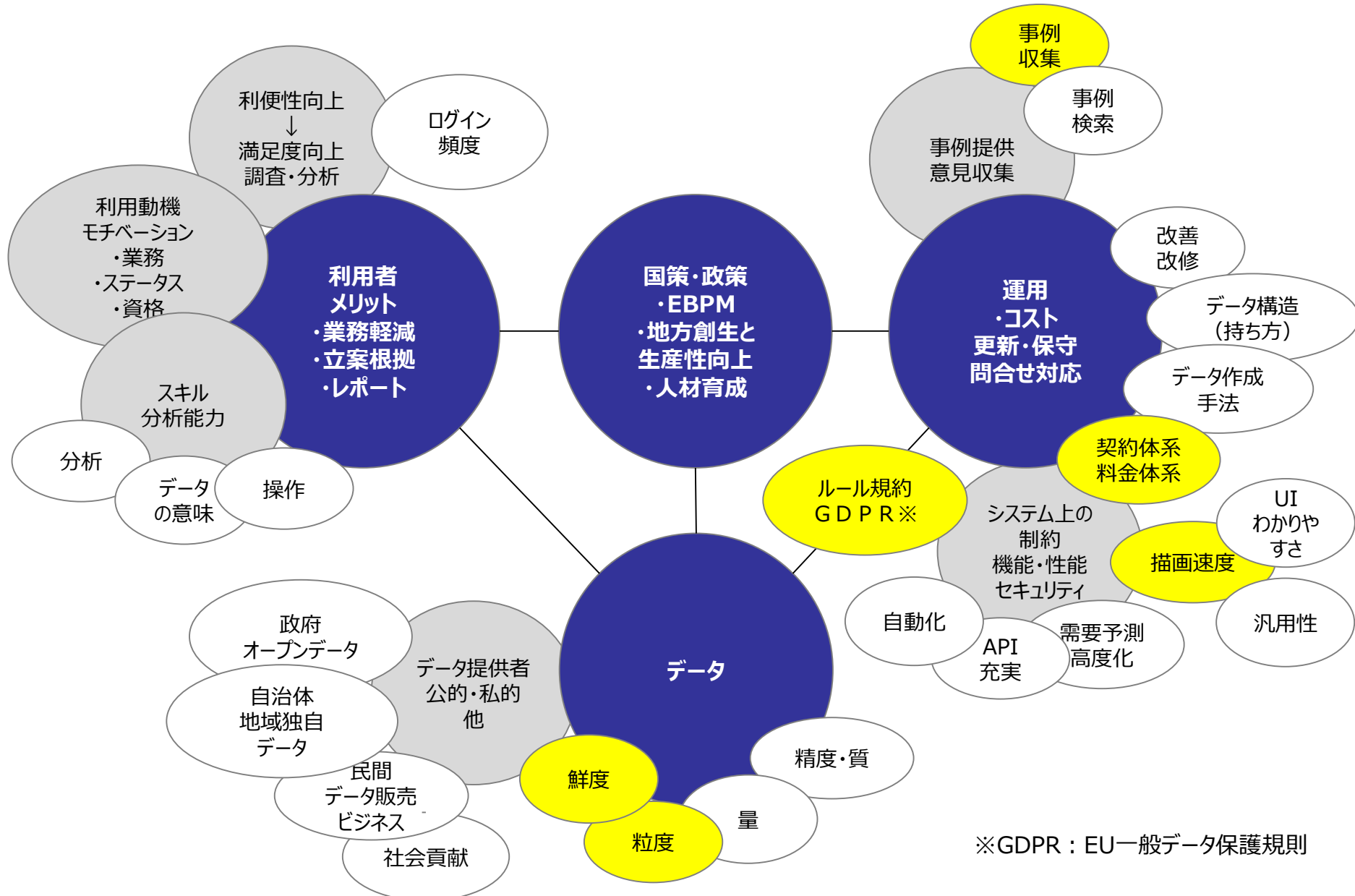
1. 地方自治体の「証拠に基づく政策・事業立案」の推進
2. 中小サービス事業者の効率化による生産性の向上と消費の拡大
3. データ活用人材の育成

対象分野

交通・モビリティ エネルギー 防災
インフラ維持管理 観光・地域活性化
健康・医療 環境 農林水産業
都市計画・整備 物流 セキュリティ・見守り その他（ ）



データプラットフォームの環境とそのための機能とデータ



※GDPR : EU一般データ保護規則